あんなとこ、こんなところ 地域の身近な 歴史スポット③

ぼたもち地蔵

原田 弘

杉並区にも江戸時代からの石仏は二七〇余体もあるそうですが、その内庚申塔は約八五基でお地蔵様は一〇六基もあるそうです。その種類も多く、子育て、豆腐、延命、出世、身代り、安産、火伏、とげぬきなどまだまだあります。

今ここに紹介するのは和田一丁目女子美大の西側にある曹洞宗の長延寺で明治42年に市ヶ谷長延寺から移転して来たお寺で、かつて高家今川氏の菩提寺でもあったのです。まず入口の説明板を読んで門を入ってください。すぐ左手にエプロン姿の地蔵様が皆さんを迎えてくれます。二体並んで向かって右側です。

なぜ「ぼた餅」の名がついたのでしょうか。それはおおよそ二百年も前に市ヶ谷にあった頃のはなしになりますが、寺の門前近くに桶屋夫婦が住んでいましたが、真面目で働き者の上、二人とも大変信心深い夫婦でした。ただ子供がなかったので毎日門前の地蔵様に願をかけていました。やがて身ごもって男の子が生まれました。大変な喜びようだったのですが、どうしたことか産後の肥立ち悪く母子共に衰弱していきました。

気が気でない主人は地蔵様に前にも増して助けて下さいと願いました。すると見慣れない小僧が竹の皮に包んだぼた餅を持ってきて「これを食べて下さい」と差し出しました。ぼた餅を食べた母と赤ん坊は日増しに元気を取り戻しやがて全快しました。喜んだ夫婦はお礼にお寺に参りますと、お寺さんでは「知りません。それは初耳です」とのこと。それではと地蔵様を見上げると、まさしく小僧さん顔でした。

この噂は忽ち江戸市中に拡がり、子育て地蔵ということで願いがかなった時には、ぼた餅を供えてお礼参りをする習慣が定着したのだそうで、市ヶ谷から当地へ移転してからも戦前までは「ぼた餅参り」が行われ市中から信仰深い人々がお参りに来ていたということです。

原田 弘 氏
杉並郷土史会会長・(元)日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本ペンクラブ会員

(仮称)高円寺区民集会所の開設に向けて

このたび、多くの方々に利用されている高円寺北会議室(高円寺北3-25-9)を改修し、高円寺地域に二箇所目の区民集会所として整備し開所を計画しています。

現在、当運営協議会委員や地域の皆様方による改修プランの打合せ会が組織され、改修にむけて検討をしているところです。

ぜひ、地域住民相互の交流の場として、活動の場の拠点として地域のよりよい街づくりを進めていきたいと考えております。

◎今後のスケジュール(予定)

・平成17年5月~8月
・改修プラン打合せ会
・平成18年1月~3月
改修工事
・平成18年4月 開設